

第6章 施策の実現に向けての重点施策と成果指標

1. 重点施策と成果指標の設定

本計画の基本理念を「安全・健康で快適な住環境の実現を目指して」と設定しました。

また、上位計画である第2次佐賀市総合計画においては、住宅施策のめざす成果として『市民は、安全、快適で住みやすい居住空間を確保できている』状態を掲げています。

これらの理念や目標を実現するため、特に重点的に取り組む必要がある施策として、以下の4つの施策を重点施策として設定し、また、今後取り組む施策の成果を示す指標として、総合的成果指標や重点施策に伴う数値目標を設定します。

●総合的成果指標

○ 住居が、安全、快適で住みやすいと感じている市民の割合

現状	83.5% (平成 27 年度)	⇒	目標	84.7% (平成 37 年度)	
※市民意向調査			(総合計画の成果目標に準じる)		

【重点施策 I】

○ 災害に強い住まい・住環境づくり

1-1 防災や防犯の維持・向上と
安全な住環境づくり

成果指標 I

○ 耐震性を有する住宅ストックの比率

現状	62.4% (平成 25 年)	⇒	目標	95.0% (平成 37 年)
----	-----------------	---	----	-----------------

参考値：国の目標値 95% (平成 32 年)、県の目標値 90% (平成 32 年)

※住宅・土地統計調査 (国の目標値に準じる)

【重点施策Ⅱ】

- 住情報の提供の充実・周知
- 住宅のバリアフリー化の推進

1-2 安心して生活できる住宅
支援のしくみづくり

成果指標Ⅱ-1

- 新築住宅における長期優良住宅の割合

現状	16.7% (平成 26 年度)	⇒	目標	20.0% (平成 37 年度)
----	------------------	---	----	------------------

参考値：国の目標値 20% (平成 32 年)、県の目標値 20% (平成 32 年)

※住宅着工統計の新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅技術的審査適合証交付戸数の割合
(国の目標値に準じる)

成果指標Ⅱ-2

- 高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率

現状	44.3% (平成 25 年)	⇒	目標	75.0% (平成 37 年)
----	-----------------	---	----	-----------------

参考値：国の目標値 75% (平成 32 年)、県の目標値 75% (平成 32 年)

※住宅・土地統計調査
(国の目標値に準じる)

【重点施策Ⅲ】

- 世代間交流を意識した市営住宅の建替え・改善

2-1 市営住宅の効率的・
効果的な供給・改善

成果指標Ⅲ

- 市営住宅の建替事業による老朽化住戸の改善率

現状	36.2% (平成 26 年度)	⇒	目標	83.0% (平成 37 年度)
----	------------------	---	----	------------------

(総合計画の成果目標に準じる)

【重点施策Ⅳ】

- 街なかの空家、空ビル等の有効活用

3-1 街なか居住等の促進

成果指標Ⅳ

- 主要商店街通行量

現状	72,168 人 (平成 26 年度)	⇒	目標	150,000 人 (平成 37 年度)
----	---------------------	---	----	----------------------

(総合計画の成果目標に準じる)